

平成 17 年度日韓理工系学部留学生研修コース報告

留学生センター 畝田谷 桂子

1 はじめに

本稿では、日韓共同理工系学部留学生事業の派遣留学生に対する、留学生センターでの学部入学前 15 週間の予備教育「日韓理工系学部留学生研修コース」について報告する。

2 日韓共同理工系学部留学生とは？

日韓共同理工系学部留学生事業とは以下のものである。（『留学交流執務ハンドブック』平成 14 年度版留学交流事務研究会編著を一部変更して引用。）

1. 平成 10 年 10 月に、金大中大韓民国大統領が訪日した際に、日韓両国の首脳により発表された日韓共同宣言「—21 世紀に向けた新たな日韓パートナーシップ—」及び同附属書において青少年交流の拡大が謳われ、その具体策として同国から我が国の理工系大学(学部)に留学生を招致する行動計画が盛り込まれ、日韓両国が共同で本事業を実施することになった。
2. 本事業は、韓国の企業・研究所等における先端技術の更なる高度化の促進を図るため、次代を担う前途有為な学生(高等学校卒業者)を我が国の理工系大学(学部・4 年制)へ招致し、最先端技術・知識を習得するとともに、留学生交流を通じた日韓間の相互理解の増進に寄与することを目的として、平成 12 年度(2000 年)から年次計画的に招致留学生の増員を図り、平成 22 年度(2010 年)を目途に最終的には 1,000 人(新規渡日者 200 人)規模の留学生を招致する。
3. 日韓共同理工系学部留学生は、日韓合同での選抜試験により選考が行われ、配置大学が決定され、その後韓国内における 6 ヶ月間の予備教育を受講する。
4. 渡日後は各配置大学の留学生センター等において 6 ヶ月間の後半期予備教育を受講した後、各配置大学の理工学部に入學し、4 年間の学部教育を受ける。

3 日韓理工系学部留学生研修コース概要

3-1 鹿児島大学第二期生

洪 ジヌク HONG, Jin Wuk(工学部海洋土木工学科受け入れ)

3-2 コースカレンダー

学生鹿児島空港到着, 空港迎え: 10/5(水)

日本語プレースメント・テスト: 10/11(火) 日本語一般コース用テスト

10/18(火) 日本語能力試験2級抜粋テスト

オリエンテーション: 10/11(火) 全留学生向け

10/13(木) 日韓コース向け

授業開始: 10/17(月) (大学祭: 11/11(金) 午後 ~ 11/15(火) まで休講

冬休み: 12/23(金) ~ 1/9(月)

共通教育基礎教育科目「物理学基礎 AII」の聴講: 1/16(水)

授業終了: 2/14(火)

学部入学までのオリエンテーション: 2/8(水)

日本語能力試験2級模擬テスト: 2/10(金)

学部入学式: 4/7(金)

3-3 カリキュラム

予備教育は, 専門課目(数学週3コマ, 物理週1コマ, 英語週1コマ), 日本語課目(週9コマ: 内, 日韓特別日本語1コマ, 一般コース(レベル別クラス編成による全留学生対象の日本語クラス)8コマ)で実施した。時間割りは以下のとおりである。また今年度は、「大学の授業を聴講してみたかっ」という第1期生の授業評価の意見を参考に、1月に共通教育基礎科目「物理学基礎 AII」(理学部石田教授)の聴講を行った。

	月	火	水	木	金
10:30-12:00	数学 寛山 / 西村		物理 河南		数学 寛山 / 西村
12:50-14:20	中級会話2 四元	読解1 四元	中級作文 上迫	英語 マルヴィー	中級会話2 マルヴィー
14:30-16:00	異文化理解1 大嶋	中級会話1 畝田谷	数学 寛山 / 西村	中級会話1 畝田谷	読解1 四元
V 16:10- 17:40		日韓特別日本語 畝田谷			

■ は, 専門課目, ▨ は日韓生のための日本語課目, 網かけなしは他の留学生とともに学ぶ日本語一般コース課目。

数学は1月から寛山先生から西村先生に交代し、月曜と金曜は5限に変更した。

3-4 学生の評価, 修了認定

受講規則に従い学期末に各課目担当者が個人別評価を作成し、各課目評価を総合して修了認定を行い、学生と受け入れ学部に報告した。評価を総合すると、どの教科にも意欲的で能力も高く学習態度もよかったが、唯一遅刻が多く見られる点を改善すべきだという共通意見であった。

日本語能力の到達度に関しては、日本語能力試験2級の抜粋テスト(文法, 読解, 語彙のみ)を10/18に行った時点では、50%未満の結果だったが、2/10に実施した2002年2級問題(文字・語彙, 読解・文法, 聴解で400点満点)では、合格点を得ることができた。

3-5 教育内容

各授業の教育内容の概要は以下のとおりである。

数学: 微分積分学、線形代数学(1次独立・従属、線形性、1次変換、行列の階数など)

物理: 質点の力学: 物理量と単位、ベクトル、速度と加速度、力と運動の法則、仕事と位置エネルギー、その他、放射線について、気体運動論、振子の実験と、放射線源からの距離と放射線の強さの関係および遮蔽体の吸収係数の測定実験を行い、データの処理の仕方と、グラフ用紙の使い方、対数グラフの使用法等の指導をした。

自作教材『日—韓物理関連用語辞典』の改訂版を作成、使用した。

英語: 大学共通教育の英語授業に対応できる知識を養うこと、日本人の文化観、歴史観、価値観等を学ぶことを目的に、日本文化を扱ったビデオ教材を使用し、英文和訳も練習した。また運用能力を高めるため、媒介語は英語にした。『JAPAN WATCHING 世界が見つめる日本』成美堂

日韓日本語: 日本語能力試験2級程度の文字、語彙、文法の習得を目的にした。『日本語能力試験2級対応日本語テストステップアップ問題集』アルク

その他の日本語授業: その他の日本語授業は一般コースの授業。内容は『スタディ・ジャパン・プログラム授業科目概要』に記載。

3-6 学生によるコース評価

コース修了後、授業評価アンケートに答えてもらった。学生と個人的な人間関係を結べる学習環境だったので、全てについてよい評価が得られた。自由記述による特段の希望もなかった。(質問項目: 1.自分について(学習態度等) 2. 授業について(勉強の量、授業時間数等) 3. 専門科目について 4. 日韓特別日本語について(日本語一般コースの授業は、授業ごとに留学生センター所定の授業評価を実施しているので、この授業評価には含めない。)

4 今後の課題

日韓共同理工系学部留学生事業は平成 18 年度で第 8 期生を迎える。鹿児島大学は受け入れ学生数の伸びが見られず苦心しているが、引き続き継続的な受け入れを目指して、広報に工夫しなければならないだろう。また、受け入れた学生が学部入学後も問題なく学習しているかどうかフォローアップするとともに、厳しい予算環境での予備教育の質の維持を図る必要がある。

本年度も予備教育は、学生、担当教員に大変恵まれた。特に理学部河南教授には多大な協力を得た。また、共通教育科目の聴講を快く許可していただいた理学部石田教授、関係する方々に心から感謝の意を表するとともに、今後も力を尽くしたい。(留学生センター助教授)